



諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校

12月号その2

平成26年度 第24号

(平成22年度指定)

エコノミクス甲子園長野県大会優勝 来年全国大会へ

クイズ研究会の由井君、小野君（SSH）チーム「ジャンダルム」

12月7日（日）長野市八十二銀行本店で開かれた第九回全国高校生金融経済クイズ選手権『エコノミクス甲子園』長野県大会（主催八十二銀行 後援文部科学省、金融庁、内閣府）で、本校クイズ研究会の2年生チームが優勝し、来年2月に東京で催される全国大会に出場が決まりました。本校からは2年生チームと1年生チームの2チームが出場し2年生チーム「ジャンダルム」が見事に優勝を獲得しました。

エコノミクス甲子園は、金融知力普及協会が「社会に羽ばたく前の高校生に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き、「自分のライフデザイン」や「自分とお金の関わり方」をクイズを通して考えてもらうために」開催しています。

クイズ研究会諸君は、昨年度辻先生に大会を紹介され挑戦をはじめました。今回は、事前に部員同士で「政治経済」の教科書を熟読したほか、大会事務局から送られてきた資料や過去問題を徹底的に解いて準備し本番に備えたそうです。

近年、産業界では、「確かなデータに基づき不確実性を科学的に分析することで持続可能社会の発展に寄与する科学者や技術者、データに基づく論理的な議論で国際社会をリードする人材および公開された統計資料を正確に受け止め正しく理解できる人材の育成が求められている」とのことです。そのような背景があり、長野県でも昨年度から八十二銀行が主催して『エコノミクス甲子園』が開催されています。皆さんも来年挑戦してみませんか。



優勝した小野君（左）と由井君（右）

SSH コース課題探究第3回中間発表会が催されました

～探究をより良いものとするために徹底的に討議、助言し合うことを大切にしています～



本校SSHコース2年生は1年次の「SSH 情報」の学習を踏まえて、「理数課題研究」1単位で、身近な自然の中に課題を見出して課題探究学習をしています。

1年生の1月から、コース生徒31名が一人ひとりいろいろな分野のテーマを5つほど持ち寄りました。クラス全員で集まった150程度のテーマについて討議して、探究に相応しいテーマを10程度に絞り込んだ上で、それぞれのテーマごとに研究グループを作って、2年生の5月から探究活動を始めています。

途中5月、9月、そして12月に中間発表会を催し、2月上旬に諏訪市文化センターで課題探究発表会を一般公開で実施する予定です。

5月の中間発表会では、対象にどのような課題を見出し、どのような仮説を持って研究していくかを英語で発表しました。それぞれのグループはメンバー同士で議論を重ねて研究を進めました。9月と12月はそれぞれその段階での研究の進捗状況を発表し、仲間と質疑応答を通してより良い探究活動になるよう取り組んでいます。12月の中間発表会では、時間をあえて無制限として徹底的に得られた結果や考察についてクラス全体で討議し、仲間の探究をより深いものとするようにしています。

今年の12月の中間発表会でも1テーマにつき10以上の質問や助言が出され、中間発表会は5時間にも及ぶ白熱したものとなりました。クラス全員が評価用紙に、発表態度、スライドの出来、そして研究内容について評価、助言を記入して、発表者に渡すことにしています。